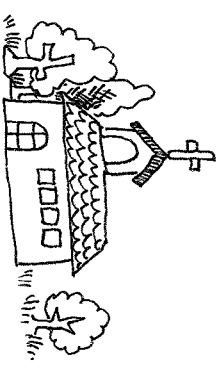


いずみのひろば

いつもイエスさまといっしょ

マタイによる福音書28:16~20



イエスさまのお弟子さんたちは、イエスさまが十字架にかかって死んでしまった後、さびしい日々を過ごしていました。しかし、マгдаラのマリヤさんたちは、復活されたイエスさまとお会いになって、ガリラヤでお弟子さんたちと会うとお話になったというのです。そこで、お弟子さんたちはイエスさまが言われた通りガリラヤの山に登っていくと、そこにはすでにイエスさまが来ておられたのです。

よみがえられたイエスさまは、お弟子さんたちにお話になります。

「あなたがたは行って、すべての民をわたしの弟子にしなさい。彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼を授け、あなたがたに命じておいたことをすべて守るようになさい。教えなさい。」(マタイ 28:18)

世界中にイエスさまが救い主だと伝えられていくなんて、とてつもない仕事です。それに、お弟子さんたちだって、イエスさまのことを信じつつも、疑いの気持ちも抱いてしまうような、弱い人間です。しかし、イエスさまはそんなお弟子さんたちに、世の終わりまで一緒にいると約束してくださいました。

ガリラヤでイエスさまがお弟子さんたちに話されたお言葉の通り、イエスさまはいつもわたしたちと一緒にいるという約束をまもってください。いまや教会は世界中に広がりました。2000年たったいまも、イエスさまがわたしたちと一緒にいてくださいます。ガリラヤから遠く離れた、ここ、聖公会の毎週日曜日にもイエスさまが共にいてくださいます。礼拝だけじゃなくて、うれしい時も悲しい時もこの世が終わるまで、わたしたちと一緒にいてくださいます。いつだって、もうさびしいなんてことはありません！

イエスさまの復活がわたしの救いだという信仰を受け継いで、教会のはたらきが広がっていくということは、人の思い、気持ちだけでできることはありません。神さまのご計画のなかで、人が用いられるのです。イエスさまはわたしたちにも呼び掛けをおられます。イエスさまがいつもともにいてくださることを信じ、安心して歩みましょう。

(おはなし 犬井康之 先生)

